あなたの"したい"を応援します
OT NIIGATA
新潟県作業療法士会ニュース
朱鷺 TOKI
No. 21

# 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会を終えて

（公社）新潟県作業療法士会 副会長
門　脇　　高

少し遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

さて、昨年の12月10日・11日と第２回新潟県リハビリテーション専門職学術大会が無事に開催されました。新型コロナウィルスが依然猛威を振るう中、対面での学会運営を行う運営側はもちろんのこと、参加された皆様にもオンラインでの開催とは異なる大変な覚悟と配慮が必要だったかと思います。しかし、その苦労も実り、作業療法士会が主管の本学会は参加者総数で605名と盛況のうちに終えることができました。

その中で私が実行委員長としてこの大会における所感を二つお伝えしたいと思います。

一つはやはり「人は交流を必要とする生き物」であるということです。出口が見えてきているとはいえ、現在もコロナ禍の最中であるわけですが、コロナ禍で生まれた様々な対策や手段を肯定的に捉えた上で、「やはり対面での交流は素晴らしい」ということを参加者の皆様の表情を通じて実感することができました。数年前まで当たり前に行われていた仲間との久しぶりの対面や学術交流は自然と皆を笑顔にさせていたように思いました。当たり前の交流を「ありがたい」と感じられたことも収穫の一つであったように思います。

二つ目は「共に学ぶ場を作ることの重要性」です。参加された皆様はこの学術大会が「なぜ３つの士会が合同で行っているのか」については実感・体感できましたでしょうか。同じ職種の中でも「自分が知らないこと・わからないこと」はたくさんあるでしょうし、他職種の取り組みや発表の中には更にその部分は多いことでしょう。「自分の知らないことを知る」ということは「相手を理解する」ということにつながります。学会は互いの研究の成果を発表し合い、学びを深め合う場であるとともに、参加者同士のコミュニティの形成やネットワーク作りが大きな目的かと思います。３年に１度開催されるこの学会を通じて、是非とも自分の職種内に止まらない興味と理解と活動を今後も広げていただけることを願います。

最後になりますが、本学会を共に運営いただいた新潟県理学療法士会様、新潟県言語聴覚士会様をはじめ、ご協力いただいた各関係・後援団体の皆様、並びに共に学会を作り上げた新潟県作業療法士会の運営スタッフの皆様にお礼を申し上げ、振り返りの言葉とさせていただきます。

# 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会

昨年12月10日、11日の両日に行われました当学術大会では非常に多くの方からご参加いただき大成功を収めることができました。当日残念ながら参加がかなわなかった皆様にも、ほんの一部ですが盛況の様子をご覧いただきたいと思います！！

左：大会のポスターは作業療法利用者様が水彩で描いてくださったもので会場にも展示させていただきました！
下・左下：大会に先駆けて行われた公開講座では吉藤オリィ先生から、東京の研究所と新潟の会場を AI ロボットで繋いでご講演いただきました。

開会式には、ご来賓の新潟県副知事 橋本憲次郎様、新潟市長 中原八一様、新潟県薬剤師会笠原敦子様、新潟県栄養士会 折居千恵子様、新潟県歯科衛生士会 薄波清美様にもご臨席賜りました。
（右：中原八一新潟市長からもご祝辞を頂戴しました）

会場内には協賛企業の出展ブースも設けられ、コロナ禍を乗り越えた久し振りの学術大会にさらなる賑わいを与えてくれました。

各会場での発表や講演はどこも本当に大盛況で、立ち見がでることも少なくありませんでした。

公開講座で大活躍のオリヒメの実機を体験することもできました。

終了後の記念写真。これだけ大勢の実行委員が長い時間をかけて準備したことで、とても充実した大会にできたと思います。次回開催は３年後にST士会主幹で行われます。お楽しみに！

各演題賞を受賞された３名
左：専門職協議会賞：
安達寿子様
中央：優秀演題賞：
保地真紀子様
右：大会長賞：　菅井裕様

# 令和4･5年度役員紹介(後編)

昨年６月の役員選挙で理事18名と監事２名が新しく選出されました。前号に引き続き紙面をお借りして一言ずつご挨拶させていただきたいと思います。

**氏名**　小山　智彦

**所属**　介護老人保健施設
サンクス米山

**担当**　福祉用具対策委員会
学術誌編集委員会

介護老人保健施設サンクス米山の小山智彦です。福祉用具対策委員会、学術誌編集委員会等を担当しております。
「人は作業をすることで元気になれる！」
この思いを皆様と共有し、微力ではありますが、さらなる新潟県作業療法士会の発展に努めて参ります。今後とも宜しくお願いいたします。

**氏名**　齋藤　元浩

**所属**　山北徳洲会病院

**担当**　災害対策委員会
ブロック化

新任の齋藤と申します。私がOTとして働き始めたころは1人職場で、自身の行っていることに不安がありました。その時に県士会の研修会や懇親会で出会った先生や仲間に支えられ活動してきました。今後は私が、県士会活動を通して支える側になり、少しでも恩返しをしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

**氏名**　渋谷　亮仁

**所属**　国立病院機構
西新潟中央病院

**担当**　ITサポート委員会
Web推進委員会

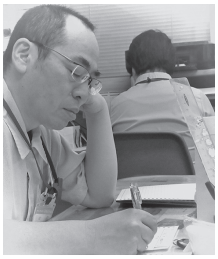
国立病院機構西新潟中央病院の渋谷です。士会ではITサポート委員会とWeb推進委員会の理事を務めております。もともとICTを活用したアプローチが得意でしたが、培った知識や経験を会員の皆様へ還元するとともに、県内の共生社会進展にも微力ながら貢献させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

**氏名**　藤本　　聡

**所属**　新潟リハビリテーション大学

**担当**　現職者共通研修委員会･
臨床実習推進委員会

今年度より理事に就任させていただき、現職者共通研修委員会と臨床実習推進委員会を担当することになりました。理事を担当させていただいてから、人と知り合う機会が増えて、とても嬉しく感じています。わからないことが多いですが精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



**氏名**　松岡　大輔

**所属**　新潟信愛病院

**担当**　地域共生社会推進保険委員会
公開講座企画実行

埼玉から流れ着いた新潟で作業療法を生業として四半世紀。育児の機会と職場に恵まれて、人の情けが身に染みるようになりました。
元来怠け者でコアラのような時の過ぎゆく男ですが、士会運営に引き入れてくれた諸先輩方のおかげで、私の作業療法は何時だって新鮮なそよ風を深呼吸しています。君はドースル？

**氏名**　山倉　宏美

**所属**　できじま訪問看護ステーション

**担当**　事務局

この度、2期目の理事を務めさせていただくことになりました。ふと気付くとビックリする程の作業療法士の経験年数となってしまいましたが、これまでの臨床は、県士会で出会った皆様に支えられてきたものだとつくづく感じています。そのような存在である県士会が更に発展していくよう貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

**氏名**　山中　智恵

**所属**　介護老人保健施設
三川しんあい園

**担当**　MTDLP委員会
事務局

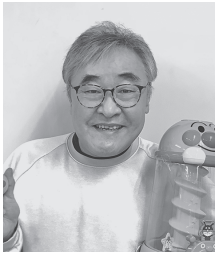
６月の役員改選にて理事を拝命致しました、介護老人保健施設三川しんあい園の山中智恵です。ＭＴＤＬＰ委員会、事務局（総会議事、選挙管理）を担当させていただきます。「作業は人を元気にする」をモットーに、1,000名を超える県士会員一人ひとりが、皆で創りあげていけるような新潟県作業療法士会になることを目指し、微力ですが務めさせていただきます。

**氏名**　吉井　真里

**所属**　特別養護老人ホーム
虹の里

**担当**　事務局長･財務

当県士会の事務局と財務会計を担当しています。事務局員の酒井原さん、堀口さん、白井さんと一緒に、皆様の会費の管理や定期便発送対応、研修会等の事業のお手伝いを行っています。何か質問などありましたら、事務局まで。一緒に写っている白いぬいぐるみは協会のマスコット「オーティくん」です。



**氏名**　水越　裕之

**所属**　はまぐみ小児療育センター

**担当**　監事

作業が持つ力を、大好きな作業療法の力を、新潟県下で皆さんが発揮できるように、理事の皆さんは協会とも協力し、県や関係各所に働きかけながら一生懸命活動を繰り広げています。県士会の活動が、適切な手続きと正しい方向性で運営されることを横田さんと共に見守り、監事の任期を努めます。

**氏名**　横田　剛

**所属**　上越総合病院

**担当**　監事

会員の皆さんが定期総会にて承認した事業計画が公益社団法人として適切に執行されるよう理事の活動をチェックすることが仕事です。県士会の運営には関わらず、利害関係なく公平公正な立場を保つことが求められており、理事以外の皆さんとは公の場で接する機会は少なくなりました。

# ポータブルトイレの紹介

悠遊健康村病院　作業療法士　**皆　川　悠　子**

今回は、利用者や介助者の互いにとってデリケートな排泄場面での福祉用具の一例を紹介致します。

高齢や病気、怪我により今まで行っていたトイレでの排泄動作が難しくなる方もいらっしゃるかと思います。排泄は生理現象であり、毎日繰り返される行為です。家族とはいえ“介助する側”も“される側”も気を遣う場面であると思われます。

トイレ用手すりの設置や補高便座、ベッドでも使用できる尿器等、その人の身体機能に合わせた排泄関連の様々な福祉用具があります。今回は、ポータブルトイレ（以下Pトイレと略す）について簡単ではありますが紹介させて頂きます。

Pトイレには様々なタイプの製品があり数多く販売されています。特徴としては、置き型であり、尿意を感じた際にすぐに使用可能なこと等が挙げられます。失禁回数の軽減や使用者が自立して行える可能性のひとつの手段ともなりえます。その為、安全に使用できるよう、身体機能や体格・ニーズに合わせた製品を選ぶ必要があります。

製品としては、プラスチック製の標準型・家具調の木製椅子型・金属製のコモード型・スチール製のベッドサイド設置型等あります。それぞれ利点や欠点が存在します。選び方のポイントとして、置き場所や高さ・肘掛や背もたれの有無・移りやすさ等を考慮する必要があります。利用者が安全に気持ちよく使用できるよう選定することが大切です。また、Pトイレというと排泄物の臭いを気にされる方も多いかと思われます。現在は防臭効果のあるものや汚れてしまった際のお手入れを配慮した製品が販売されています。

**【実際の製品】**

利用者例：排泄動作（方向転換やズボンの上げ下ろし、清拭）は行えるが、トイレまでの移動が難しい方　等

Pトイレについて簡単に紹介させて頂きました。上記内容には私自身の見解が含まれています。利用者の身体機能面や環境面・経済面など様々な要素を踏まえ、担当療法士や医療相談員、ケアマネージャー等に相談する際のひとつの考えとして参考にして頂ければ幸いです。

# 令和４年度
# 第６回理事会　議事録

日　時：令和５年１月14日（土）　13：00～18：20
会　場：Web開催
【出席者】四方、石井、門脇、村山、尾崎、小山、山倉、青柳、伊東、斎藤、佐藤、渋谷、嶋倉、藤本、松岡、山中、吉井（以上理事17名）水越、横田（以上監事２名）
【欠席者】北上（以上理事１名）
理事会定足数：理事17名の出席を確認、定款の所定数を満たしたので、理事会として成立する。

**【報告事項】**

**１）会長報告（四方会長）**

・９/30　POS協議会　県の担当者と次年度の検討
・10/７　POS協議会本年度 ３回研修会の報告
・啓発チラシ作成中
・佐渡地域医療介護福祉提供体制協議会へ、POS協議会代表としてPT１名派遣
・他諸会議出席、研修会挨拶等の報告
・12/10　第３回47都道県委員会報告
協会員＝士会員についての経過報告、協会組織率についての報告、事例登録制度について報告、災害シミュレーション訓練実施についての報告、倫理委員会では、会員の処分に関する規定を改定した。新潟県士会でも来年度新たな事業を考えている。選挙管理委員会より、来年度役員選挙と代議員選挙の実施方法についての報告、地域包括ケアシステム推進委員会の組織改編についての報告、女性会員の参加促進について報告と今後の方針、第４回の47都道府県委員会は３月11日・12日にハイブリットで開催予定。
・１/16　特別支援教育関連で義務教育課主査と面談予定。今までの県士会活動の報告と今後、県と協業できる部分があるのか情報交換を行う。
・参議院議員で欠員が出たため、PT協会の田中まさしさんが繰り上げ当選確実である。今後も県内の議員と共に継続した意見交換を行っていく。

**２）理事報告**

**精神分野推進委員会（嶋倉理事）**

・12/２見附市の協議会にオブザーバーとして参加。
・２/４ステップアップ研修を開催予定。
・予算の執行率は64％。今後の会議、研修会で予算執行率遂行される予定。

**MTDLP委員会（山中理事）**

・11/27事例検討会を開催。今年度から事例検討会を年３回に増やした。感染対策をしながらの対面開催は好評だった、１/25事例検討会を予定。動画編集（基礎研修会、フォローアップ研修会の内容）を行っており、次年度に動画を掲載予定。
・予算執行率は74.43％。会議を増やすか検討する。

**地域包括ケア推進委員会（村山副会長・斎藤理事）**

・県士会としての研修会は終了。ブロック事業が動かせていないことで予算が余剰。特に佐渡はコロナの関係で渡航できていない。ブロック事業に関しては概ね遂行。会員向けの資料作成を進行中。
・地域包括ケア専門職協議会は３/12に研修会を予定。手引きの改定を行っているが今年度中には終了が見込めない。来年度の予算削減される可能性があり、30万円から15～20万円くらいになる見込み。

**移動支援対策委員会（村山副会長）**

・予算が大幅に余剰。当初オンデマンド配信を有料で実施する予定であったが、YouTube規定に触れるため実施できなかった。予算の執行は難しい状況。オンデマンドで配信と委員活動で執行可能見込み。

**災害対策委員会（斎藤理事）**

・予定事業は終了。災害時の規定を作成中。
・DWAT研修会は20名参加予定が３名のみの参加。
・８月豪雨災害についてボランティアに参加したが、その後は新たな動きはなし。
・12月豪雪について被害状況の把握のためにアンケートを実施。34件の回答あり、人的被害なし。

**ＩＴサポート委員会（渋谷理事）**

・事業・研修会は終了。予算執行済み。
・今年度でST士会が抜ける為、来年度は難病支援センター主催、ITサポートセンター共催で実施予定。

**Web推進委員会（渋谷理事）　予算執行率90％以上**

・次年度に向けての会議を残すのみで事業終了。

**福祉用具対策委員会（小山理事）予算執行率84％**

・今年度の残りは2/4研修会と会議２回で事業は予定

**生涯教育委員会（佐藤理事）　予算執行率50％**

・今後は推進担当者の会議への参加、教育部との合同会議、委員会議、ポイント対応等を実施予定。

**公開講座企画実行委員会（松岡理事）予算執行率35％**

・POS学会を終え、事業は終了。事業報告書作成中、発送作業が未実施。

**地域共生社会推進委員会（松岡理事）**

・派遣事業はコロナの影響で順調に進まなかった。研修会については今後執行予定で、２/19実施予定。

保険委員会（松岡理事）
・診療報酬改定を受けてアンケートを実施予定、２月に定期便に間に合うようにアンケートを作成中。
臨床実習指導者研修会（藤本理事）予算執行率109％
・11/12～13臨床実習指導者講習会を実施し、81名受講。現在今年度予定の事業は終了。
現職者研修委員会（藤本理事）予算執行率75％
・第２回現職者共通研修の事例報告と事例検討の研修会を２/26の予定。今後のあり方・進め方を検討。
特別支援教育委員会（伊東理事）予算執行率は89％
・６校に派遣。・研修会を２/19実施予定。１/16教育庁の教育指導主事との面談を予定。小児リハビリに関連するOTマニュアルを作成中、HPアップ予定。
広報委員会（尾崎理事）
・朱鷺１回分の発行とホームページの固定費、LINE配信作業の日当支払いを残し執行済。
倫理委員会（山倉理事）執行率100％
・12/26第４回倫理委員会を実施、残り２回の会議。
表彰委員会（山倉理事）予算執行率87％
・活動はすべて終了。
規約委員会（山倉理事）予算執行率20％
現職者選択研修委員会（青柳理事）予算執行率24.4％
・１/29精神科分野の研修会を実施予定。
学術誌編集委員会（青柳理事）予算執行率は29％
・POS学会で次年度の学術誌投稿への呼びかけ。学術誌の校正が終了し２月定期便に同封する予定。
１/19Web研修会を実施予定。
POS学会（門脇理事）予算執行率77.4～80％
・12/10～11朱鷺メッセにて開催。605名（PT363名、OT191、ST51）の参加あり。マニュアル作成。
スキルアップ研修委員会（石井副会長）
・１/21研修会、会議を２回予定。13万程度余る見込み。要因としてハイブリットからWeb開催にしたことで余剰。消耗品としてパソコンを購入予定。
福利厚生委員会（石井副会長）
・POS学会で懇親会の運営を行った。残り会議１回。
事務局報告（吉井事務局長）
・メールの対応、ホームページ掲載等実施。公文書の発行は16件。
・後援依頼は５/20～21新潟県福祉機器展の１件について、後援承諾の報告を行った。

**３）財務報告（吉井事務局長）**
・１/10さくら総合会計事務所の巡回監査があり、予算執行率95～105％を目指し、事業に取り組んでいただきたい。
（四方会長・他理事、監事）今年度の予算内での検討事項として各委員会でのパソコン購入を検討するが次回以降の継続検討課題とする。

**【協議事項】**
**１）第１号議案　会員管理について**
入会者：２名、退会者：１名
１月14日時点での正会員数：1087名
第１号議案承認数確認　⇒　承認された

**２）第２号議案　令和５年度事業計画及び予算案について**
（四方会長）次年度は士会から委嘱状を出された会員については研修会の参加費用を無料、また、現職者共通・選択研修に関しては、新人プログラム終了後、２回目以降の参加費無料化を踏まえ次年度事業計画と予算を修正していただきたい。
（吉井事務局長）
今年度全体の収入13,164,000円、支出合計12,665,693円により、差額498,307円と50万円ほど黒字予算となった。ここより各委員会の事業計画及び予算案の確認を行った。

**≪公益事業≫**
１　学会運営委員会：託児の収入を追加。学会運営マニュアル作成を来年度進めていく予定。
２　学術誌編集委員会：査読者研修会を追加、学術誌の配布を会員一人１冊を検討。
３　現職者共通研修委員会：　２回目以降参加費無料であれば収入に変更。
４　現職者選択研修委員会：変更なし。
５　臨床実習推進委員会：臨床実習指導者研修会修了者を対象とし参加費を無料で計上。
６　生涯教育委員会：新人オリエンテーションと混同しないよう公益事業として記載。
７　MTDLP委員会：基礎研修・事例検討会について２回目以降の研修会参加費を無料、収入が減額。
８　スキルアップ委員会：変更なし。
９　広報委員会：福祉機器展への参画のため予算増。会員専用ページを作成していく。
10　公開講座企画実行委員会：学会と別日で行う。託児の収入を追加予定。
11　地域包括ケアシステム推進委員会：変更なし。
12　ブロック内事業：変更なし。

13　地域共生社会推進委員会：派遣会員のフォローアップ研修は参加費無料に修正。
14　特別支援教育委員会：学校等支援事業（講師派遣）を事業計画に追加。諸謝金（交通費）減額。
（四方会長）他領域OTの活用の促し。
15　障害福祉対策委員会：変更なし。
16　福祉用具対策委員会：変更なし。
（四方会長）福祉用具業者で活躍するOTの検討。
17　ICTサポート委員会：難病支援センターとの共同開催。研修会参加費は無料へ修正する。
18　精神分野推進委員会：情報共有会の参加費は無料（会員・非会員ともに）へ修正する。
19　保険委員会：変更なし。
20　災害対策委員会：変更なし。
21　移動支援対策委員会：研修会の内容を変更予定。

≪法人会計≫
法１会員向け広報委員会：変更なし。
法２規約委員会：変更なし。
法３倫理委員会：変更なし。研修会開催予定。
法４表彰委員会：変更なし。
法５福利厚生委員会：変更なし。
法６事務局：次々年度以降の年賀欠礼を考慮し次年度はその旨を記載し発行。
法７理事監査：変更なし。
法８財務：変更なし。
法９総会：変更なし。
法10選挙：変更なし。
事業計画及び予算案の修正・追加を１月31日までに提出し、３月理事会にて承認決議を行う予定。
第２号議案　⇒　継続審議　3/4理事会で承認決議

**３）第３号議案　倫理規程について**
【規定案の内容について】
第１条　規定の目的：処分だけでなく、周知啓発を行っていくことを明記
第８条　不服申請の手続き：第２項　第３者による不服申請調査委員会の設置云々の文言を追加
【倫理事案対応フローチャート】
フローチャートについての説明
（横田監事）倫理担当窓口ではなく、県士会でも処分や対応を検討する役割があるのか。
（四方会長）県士会は協会への窓口が主ではある。協会員＝士会員となっていくことになるが、協会には入っていないが士会員という場合もあるため、県士会でも規定を定めていく必要がある。新潟県作業療法士会が倫理問題に対する役割と立ち位置を明確にして協議をする必要はあると思われる。
県士会として重要なのは処罰ではなく、啓発に力を入れていく方針。次年度以降は研修会を開催予定。
第３号議案　⇒　継続審議

**４）第４号議案　令和５年度県士会表彰について**
役員表彰１名　四方会長
第４号議案承認数確認　⇒　承認された。

**５）第５号議案　８月豪雨被災会員の県士会費免除について**
２名の会員から被害申請あり、協会費免除の申請をし、１名のみ対象となった。
県士会では被害会員に対してどのような対応を行うかについて検討、協会＝士会員も考慮し協会の基準で該当したものには理事会決定で対応する、今後規定整備を進める。
第５号議案　⇒　協会の判断に従い、今年度の会費納入を免除とする。

**６）その他（固定資産の夜間視力計について）**
固定資産のひとつに夜間視力計があるが、今後の対応について検討、継続審議とした。

以上

介護用品、レンタル・販売
リハビリ機器、医療機器販売
(株)いわしや
悠久堂医科器械店
本　　社　TEL　0258-47-1848
新潟営業所　TEL　025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド
・コミュニケーションエイド・福祉機器
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B
（オーエックス新越）
〒956-0017
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
TEL　0250-25-2626　FAX　0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp/

義肢・装具・介護レンタル
ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。
社団法人　日本義肢協会登録・中部１２５号
㈱田村義肢製作所
〒950-1151　新潟市中央区湖南21番地11
TEL　025　281-0303
FAX　025　281-0339

**新潟県作業療法士会事務局**

〒950-0872
新潟市東区牡丹山３丁目１番11号 三森ビル301号
<TEL> 025-279-2083　<FAX> 025-384-0018
<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

№21　2023年２月24日発行

発行責任者：四　方　秀　人
編集責任者：尾　﨑　　生
発　　行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1
総合リハビリテーションみどり病院
印　　刷：株式会社 タ カ ヨ シ